

生徒たちに出された4つの課題

これら4つの課題の内容は大会当日に発表され、生徒たちの本番での対応力を審査しました。



中高生対象

第1回なばりジュニアメディカルラリー大会

① 学校内で突然人が倒れて心肺停止となった



- 主な採点ポイント
- ・反応および呼吸の確認
 - ・119番通報
 - ・AEDの手配および使用
 - ・適切な胸骨圧迫 など

② 飲食店で高齢者の客が餅をのどに詰まらせた



- 主な採点ポイント
- ・大人に助けを求めたか
 - ・背部を叩くなど異物の除去を行う
 - ・他の客や店員から苦しみ原因を聞き救急隊員に伝える など

③ 自転車とバイクが衝突して負傷者が3人いる



- 主な採点ポイント
- ・事故現場の安全確認
 - ・頭を打ち意識がない人への気道確保
 - ・感染防止をした上で止血を行う
 - ・骨折箇所の固定 など

④ 避難所となった体育館の問題点に気付けるか



- 主な採点ポイント
- ・授乳の部屋がない
 - ・持病の薬が残りわずかとなった高齢者
 - ・発熱があり咳をする人
 - ・生活騒音、防犯対策
 - ・ペット対応 など



目の前で人が倒れたとき 自分たちに出来ることを知る

ジュニアメディカルラリーとは、医師・看護師・救急救命士が架空の交通事故や災害現場で救護や搬送などの技術力を競う大会「メディカルラリー」の子ども版です。参加した34人の中高生は、応急手当や心肺蘇生法の正確性を競いました。また、今大会は学生が医療系職種を選択するきっかけづくりも目的としています。

〒 市立病院 ☎ 61-1100 (代表)

〒 消防本部 救急室 ☎ 63-0997

大会出場の経験を生かしていきたいです

第1回なばりジュニアメディカルラリー優勝
桜丘高等学校ハンドベル部チーム **近藤 碧さん**



私は将来、医師を目指しています。この大会の存在を学校の掲示板で知り、部活の仲間と参加しました。今回意識したのは、どんな課題でも慌てず、互いの状況を確認するために声を掛け合ったことです。応急手当などもほぼイメージ通りにできました。もし目の前で誰かが倒れたら、どんな状況でも慌てず、今回身につけた知識や経験で緊急通報や応急手当など行動したいと思います。



3月1日～7日は春の火災予防運動

〒 消防本部予防室 ☎ 63-1412

昨年市内で発生した25件の火災の内、建物火災が15件。中でも、住宅で発生した火災では1人がお亡くなりになりました。火の取り扱いは十分注意し、今一度家庭や職場で火災予防を見直しましょう。



「火災予防チェック」

- 吸い終わったたばこの火は完全に消えていますか？
- 灰皿に溜まった吸殻はこまめに捨てていますか？
- 寝たばこはしていませんか？
- コンロの周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- 無茶なたこ足配線はしていませんか。
- 重い物で配線を踏んでいませんか。



住宅用火災警報器は10年経ったら交換

住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから10年が経過しました。住宅用火災警報器は古くなると電池切れなどで火災を感知しなくなります。定期的に作動確認を行い、場合によっては交換をお願いします。



火災予防啓発と消防訓練を実施

開催日 2月29日(土)

場所 イオン名張店(元町)

内容 ▼ 防火ポスター表彰式 ▼ 消防訓練

▼ 1日消防長による火災予防啓発

◎防火ポスターの入選作品は3月3日(日)から図書館で展示します。

「地域の安全・安心を守る」 消防団員募集



名張市消防団は450人(1月1日時点)の消防団員が日々活動しています。地域の安全・安心を守るために、一緒に活動しませんか？
入団資格 市内在住の18歳以上の入
※男女問わず。年齢上限なし。消防活動に支障のない人なら誰でも入団可。

入団後の主な待遇

- ・年間報酬支給および火災出動や訓練に参加した場合の手当支給
- ・活動服、靴、ヘルメットなどを貸与
- ・活動中に負傷した場合の保険、補償制度
- ・勤務先へ「出勤証明」を発行 など

〒 消防本部 消防総務室 ☎ 63-5990

人口と世帯数
2月1日現在 ()は前月比

人口 78,315人(−66人) 男 37,879人(−30人) 女 40,436人(−36人) 世帯数 34,443世帯(−10世帯)